

実施報告書

2021 年度日系社会次世代育成研修

(中学生招へいプログラム)

オンライン学習

2021 年 10 月 9 日～2022 年 2 月 22 日 (日本時間)



2022 年 4 月

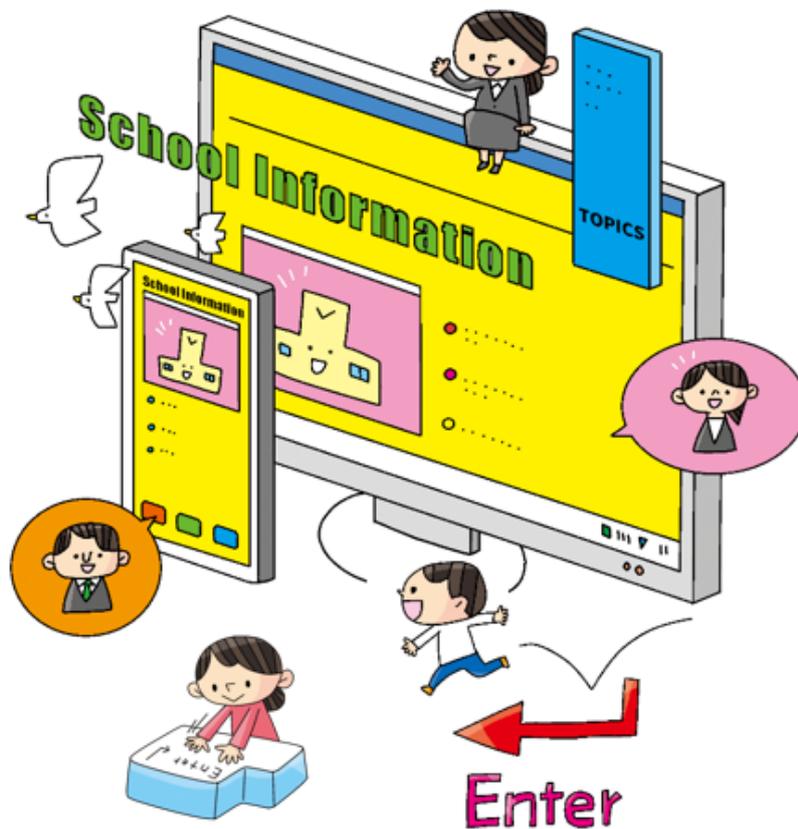
独立行政法人国際協力機構 (JICA) 中南米部

公益財団法人海外日系人協会

目次

1. 日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）の概要	1
2. 参加者人数内訳（国・学校別）	6
3. 2021年度オンライン学習 プログラム日程	7
4. プログラム内容	9
5. 総評	23

【参考】 2021年度「日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）
オンライン移住学習」募集要項



1. 日系社会次世代育成研修(中学生招へいプログラム)の概要

(1) 研修の沿革および目的

本研修は独立行政法人国際協力機構（JICA）が中南米地域への移住者の定着・安定のために移住者子弟教育として1987（昭和62）年度に「日本語学校生徒研修」として開始し、2012（平成24）年度からは、名称を「日系社会次世代育成研修」、2015（平成27）年度からは「日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）」として実施しています。

例年、本研修では、海外の日本語学校に在籍する成績優秀かつ品行方正で将来の日系社会の発展に貢献するのに十分な素質のある日本語学校生徒を本邦へ招へいし、日本人の海外移住の歴史に関する学習、中学校体験入学、ホームステイ、その他の各種研修を通じて、自分たちのルーツに対する理解と日本に対する理解を深め、さらに自らの日系人としてのアイデンティティの強化を図ることを目的として研修を実施しています。

2021年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、従来の訪日研修は実施不可となったため、昨年度に引き続き、現地日系社会の12～15歳の生徒を対象としたオンライン移住学習を実施しました。日本人が「なぜ」「いつ」「どのように」アメリカ大陸に移住したのか、「どのように」ニッケイ・コミュニティを形成し、「なにを」を創出してきたのかについての学びを通して、課題解決能力やコミュニケーション能力を高め、コミュニティへの貢献意識の高い人材育成を目的としています。また、本学習活動を日系人が多く在籍する日系日本語学校の教師と協働して実施することにより、継承教育推進への寄与も本研修では意図しています。

オンライン移住学習に加え、2021年度は訪日研修の場合に従来実施しているプログラムの一部をオンライン上で疑似体験できるよう、新たにオンライン日本体験プログラムを実施することとしました。本プログラムを通じて、日本・日本文化への興味・関心を広げると同時に、日本語学習の継続及び本邦研修参加へのモチベーションを喚起することを目的としています。



(2) 対象国および人数

対象国： 10 カ国

※日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）対象国に同じ

1 陣：カナダ、メキシコ、ドミニカ共和国、コロンビア、ベネズエラ

2 陣：ブラジル、ペルー、ボリビア、パラグアイ、アルゼンチン

参加国および参加者数： 8 カ国 102 名（延べ人数）

※他に現地日本語学校教師 4 カ国 6 名

参加国および参加者数内訳

オンライン日本体験プログラム

対象国	アイスブレイク	日本文化	ホームステイ	計（延べ人数）
カナダ	2 名	3 名	2 名	7 名
ドミニカ共和国	2 名	1 名	1 名	4 名
ブラジル	8 名	9 名	7 名	24 名
ペルー	1 名	3 名	2 名	6 名
ボリビア	4 名	8 名	3 名	15 名
パラグアイ	8 名	5 名	8 名	21 名
アルゼンチン	—	1 名	2 名	3 名
	25 名	30 名	25 名	80 名

オンライン移住学習

対象国	日本語コース	スペイン語コース	現地日本語学校教師	参加者	（教師）
				計	
カナダ	—	—	(1 名)	—	(1 名)
メキシコ	2 名	2 名	—	4 名	
ドミニカ共和国	—	5 名	—	5 名	
ブラジル	1 名	—	(2 名)	1 名	(2 名)
ペルー	2 名	4 名	(2 名)	6 名	(2 名)
ボリビア	3 名	1 名	(1 名)	4 名	(1 名)
パラグアイ	1 名	—	—	1 名	
アルゼンチン	—	1 名	—	1 名	
	9 名	13 名	(6 名)	22 名	(6 名)

(3) 研修概要

オンライン日本体験プログラム

学習項目	内容
【アイスブレイク】 オンライン運動会	運動会をオンラインで体験し、同世代の日系人と親睦を深めつつ、運動会が各国の移住地で今も親しまれている理由を探る
【日本文化】 日本人と妖怪	古来、日本人が自然と共存する中で育まれた日本特有の文化や伝承について知り、人々の生きる知恵や豊かな想像力を発見する
【ホームステイ】 オンラインホームステイ	ホストファミリーや同年代の日系人との多文化交流を通して、日本語でのコミュニケーションを実践し、お互いの生活習慣や生活様式について知る



オンライン日本体験プログラム(イメージ)

ライブ授業はZoomを使用

※各回のプログラム終了後、
振り返りアンケートを
Google Formで提出する 

1 アイสบレイク



アクティビティ
全体活動+グループ活動

2 日本文化



ワークショップ
全体活動+グループ活動

3 ホームステイ

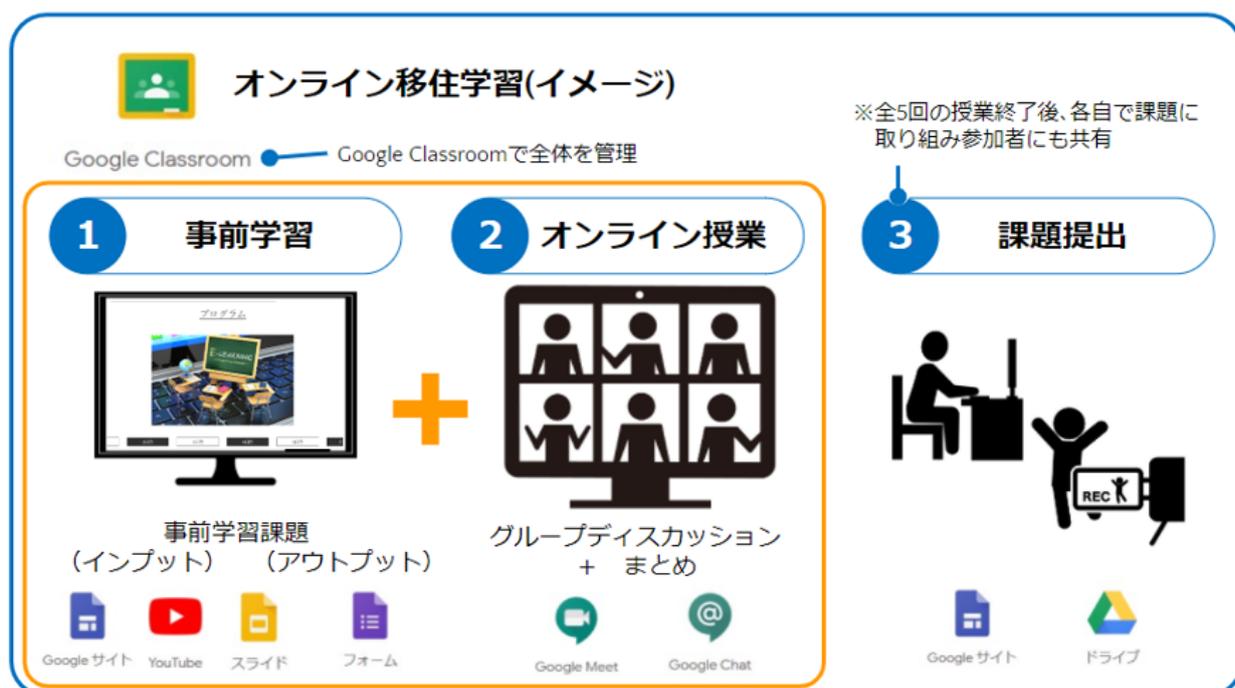


グループ (ホストファミリー
+生徒3~4名)

うんどうかい 運動会	にほんじん ようかい 日本人と妖怪	ホームステイ
<p>にほん から せかい に ひろ がった うんどうかい 運動会。みなさんも一度は さんか 参加したことがあるのでは？ ことし 今年はいつもとちがう うんどうかい 運動会 ニッケイ なかま いっしょ を 日系の仲間たちと一緒に たの 楽しみませんか？</p> 	<p>アニメやマンガによく 出てくる ようかい にほんじん 妖怪は日本人にとって、昔から みちか 身近な 存在でした。ちょっと ふし ぎょうかい なぞ 不思議な妖怪の謎について かいめい 説明して、現代に生きる妖怪をみんな げんだい い ようかい として、現代に生きる妖怪をみんな そうぞう で創造しましょう。</p> 	<p>「日本人と話したい」「リアルな にほん せいかつ み 日本の生活を見たい」、そんな こゑ こた 声にこたえて、オンラインでホーム ステイを かいさい 開催!みなさんの せいかつ 生活を にほん かぞく しょうかい くに こ 日本の家族に紹介して、国を超 えてた こうりゆう たの 交流を楽しみましょう。</p> 

オンライン移住学習

学習項目	内容
移住の歴史・時代背景を知る	日本における海外移住の歴史的背景を知り、どうして人は移動するのか、移動する人の動機を探る
人の移動の意味・日系人の貢献事例を知る	人の移動によってもたらされた社会変化にはどのようなものがあるか考え、人の移動が起こった結果、新しい価値観が生まれたことに気づく
コミュニティの成り立ち・コミュニティが果たす役割を知る	移住した日本人が船内や移住先でどのように生活していたのか、入植時の仕事や余暇をどう過ごしていたのか、新天地での生活の中でどのようにコミュニティを形成していったのか、コミュニティの成り立ちについて考察する
コミュニティの魅力と課題を調査し、日系社会の未来を考える	日系コミュニティの成り立ちや社会への影響、現在の課題等、自分の地域の日系コミュニティについて考察し、次世代のコミュニティに必要な要素を発見する
自己のルーツとアイデンティティについて考える	自己のルーツを知り、アイデンティティについて考えていく中で、自己の特徴、強みを知り、社会にどう貢献していけるのか考える
最終プロジェクト	オンライン移住学習で得た知識の理解をさらに深めていけるよう、個々の興味・関心に応じてトピックを選択し、課題に取り組む（オンライン授業を終えてから、2週間以内に1点提出）





か こ みらい いじゅうがくしゅう たび
過去と未来をつなぐ移住学習の旅

あたら ま せかい
新しいトピラのおこうに待っている世界がある

せかいじゅう なかま いっしょ
世界中にできる仲間たちと一緒に

じぶん かぞく さが て
自分と家族のルーツを探しに出かけませんか?

01



いじゅうとうじ
移住当時へタイムスリップ

移住が始まったころの日本人の生活を見てみましょう。もし、私たちがこの時代に生きていたら、どのような人生を歩んだでしょうか。

02



いほんはつけん
こんなところで日本発見!

身近なところにある「日本」を探してみましょう。どのようなモノ、習慣、考え方の中に「日本らしさ」を見つけることができるでしょうか。

03



うちゅうせん
宇宙船に乗って

あたら わくせい せいめい
 新しい惑星で生活をするようになった世界中から集められた地球人たち。これから始まる新しい生活をみんなで想像してみましょう。

みらい
未来のニッケイ・コミュニティをデザインしよう!

これからの時代、どのようなコミュニティが必要とされるでしょうか。みんながイキイキと輝ける理想のニッケイ・コミュニティをみんなで考えましょう。



04



じぶんさが いっばさき
自分探しの一歩先へ

自分ってどんな人? どんなモノやコトが自分をつくっているのでしょうか。移住者が移住先の国づくりに貢献したように、自分のキャラクターを生かして、未来をよりよくしていく方法を日系の先輩と一緒に考えましょう。

05

じゅうけんきゅう
自由研究

いろいろな国の仲間たちから聞いた話や自分の町や家族について調べたこと、そして、これからもっと知りたいと思ったことなどについて、学びを深める最後のプロジェクトです。



さいしゅう
最終

2.参加者人数内訳(国・学校別)

国名	参加者数		在学中の所属機関名 (和文または英文)	日本体験プログラム			移住学習		
	生徒 (累計)	教師		運動会	日本人 と妖怪	ホーム ステイ	日本語 コース	スペイン語 コース	サポート 教師
カナダ	7	1	日修学院	2	2	2			
			ビクトリアヘリテッジ日本語学校		1				
			JEC日本語教育センター						1
メキシコ	4	0	Telesecundaria Belisario Dominguez				1		
			日本メキシコ学院				1		
			Universidad del Noroccidente de Latinoamerica中学校					1	
			メヒカリ日系人協会					1	
ドミニカ共和国	9	0	ドミニカ共和国日本語学校サント・ドミンゴ校	1				5	
			Academia de Idiomas Japonés	1	1	1			
ブラジル	25	2	グアタバラ日本語学校	1	1	1			
			ゴイアス日本語モデル校	3	3	1			
			こいのぼり学園		1				
			タボン学園	1					
			ハルジェンポニータ日本語学校	1	1	1			
			ひまわり学園		1				
			文協		1	1			
			マリンガ日本語学校	1	1	1			
			モンダスクルーゼス日本語モデル校	1		1	1		
			リンス日本語学校			1			
			ピラール・ド・スール日本語学校						
その他								1	
ペルー	12	2	ラ・ウニオン学校		1		2	4	2
			ペルー日系人協会	1	2	2			
ポリビア	19	1	オキナワ第一日ボ学校	1	1	1	1		
			サンタクルス日本語普及学校		1				
			サンフアン学園	1	3	1	2		
			ヌエバエスベランサ校	1	1				
			ANBJオンライン日本語教室	1	1	1			
			公立アウグスティンアスピアス校					1	
			ポリビア日系協会連合会 オンライン日本語教室						
その他			1						
パラグアイ	22	0	アスンシオン日本語学校	3	2	4			
			アマンバイ日本語学校				1		
			ピラボ日本語学校	1		1			
			ラバス日本語学校	4	3	3			
アルゼンチン	4	0	日亜学院		1	1			
			ラプラタ日本語学校					1	
			その他			1			
参加者数計 (延べ)	102	6		25	30	25	9	13	6

3.2021 年度オンライン学習 プログラム日程

オンライン日本体験プログラム

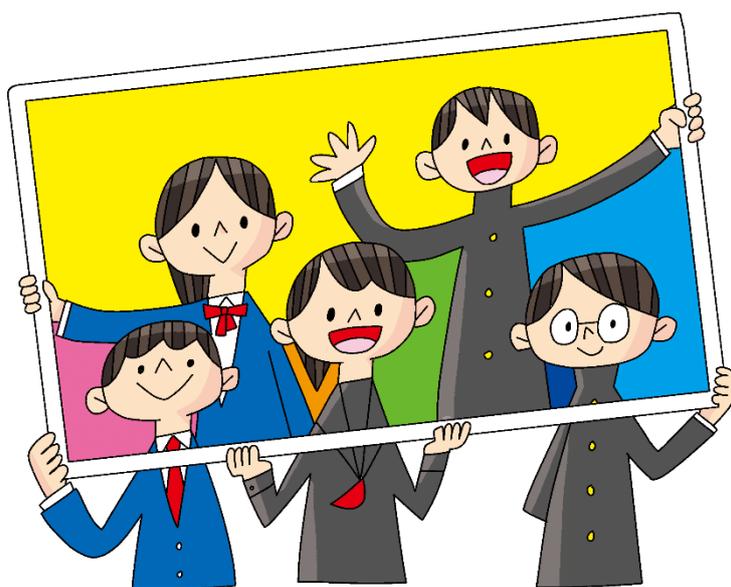
日本体験プログラム	現地		日本	
	日程	時間	日程	時間
アイスブレイク	2021年10月8日(金)	午後	2021年10月9日(土)	午前 8:00 ～ 10:00
日本文化	2021年10月22日(金)	午後	2021年10月23日(土)	午前 8:00 ～ 10:00
ホームステイ	2021年11月5日(金)	午後	2021年11月6日(土)	午前 8:00 ～ 10:00

オンライン移住学習（日本語コース）

日本語コース		現地		日本	
		日付	時間	日付	時間
練習	ブリーフィング	2021年12月21日(火)	午後	2021年12月22日(水)	午前 8:00 ～ 9:00
1	移住の歴史・時代背景	2022年1月10日(月)	午後	2022年1月11日(火)	午前 8:00 ～ 9:30
2	人の移動の意味・日系人の 貢献事例	2022年1月12日(水)	午後	2022年1月13日(木)	午前 8:00 ～ 9:30
3	コミュニティの成り立ち・ コミュニティが果たす役割	2022年1月14日(金)	午後	2022年1月15日(土)	午前 8:00 ～ 9:30
4	コミュニティの魅力と 課題調査・日系社会の未来	2022年1月24日(月)	午後	2022年1月25日(火)	午前 8:00 ～ 9:30
5	自己のルーツと アイデンティティ	2022年1月26日(水)	午後	2022年1月27日(木)	午前 8:00 ～ 9:30
最終	プロジェクト提出締切	2022年2月14日(月)	午後	2022年2月15日(火)	午前 8:00

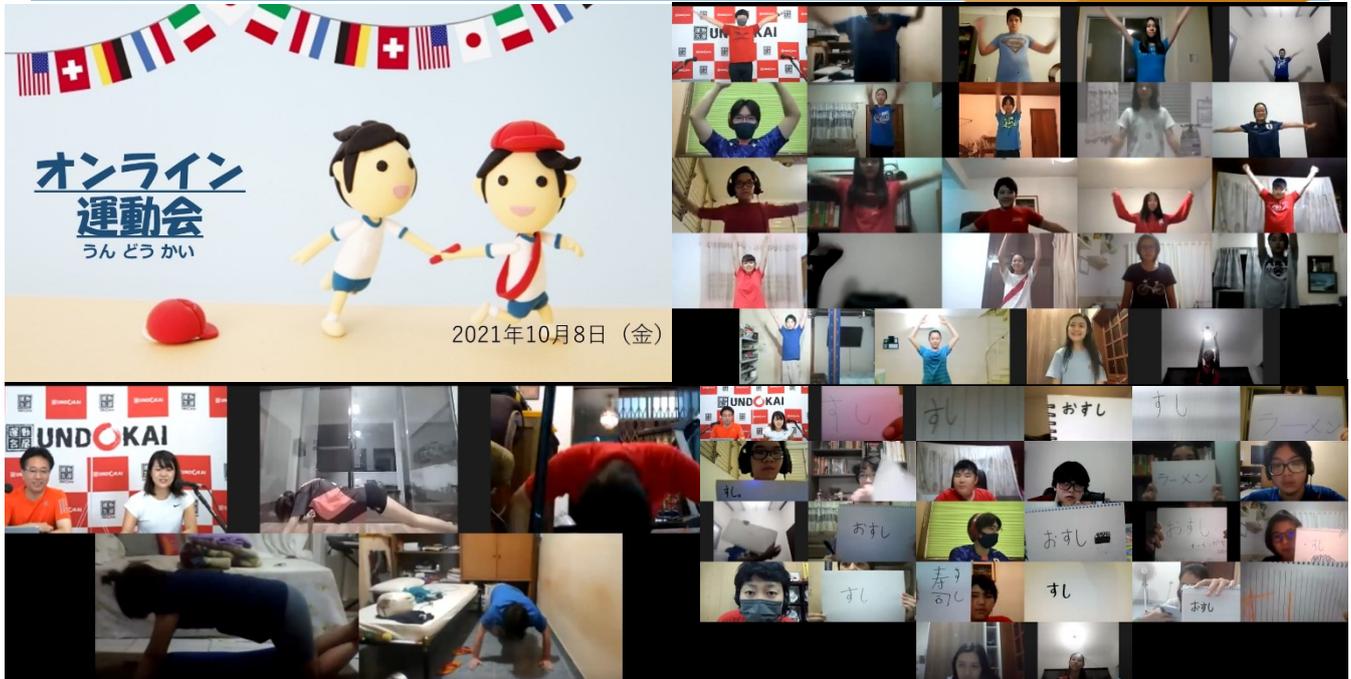
オンライン移住学習（スペイン語コース）

スペイン語コース		現地		日本	
		日付	時間	日付	時間
練習	ブリーフィング	2021年12月22日（水）	午後	2021年12月23日（木）	午前 8:00 ～ 9:00
1	移住の歴史・時代背景	2022年1月17日（月）	午後	2022年1月18日（火）	午前 8:00 ～ 9:30
2	人の移動の意味・日系人の 貢献事例	2022年1月19日（水）	午後	2022年1月20日（木）	午前 8:00 ～ 9:30
3	コミュニティの成り立ち・ コミュニティが果たす役割	2022年1月21日（金）	午後	2022年1月22日（土）	午前 8:00 ～ 9:30
4	コミュニティの魅力と 課題調査・日系社会の未来	2022年1月31日（月）	午後	2022年2月1日（火）	午前 8:00 ～ 9:30
5	自己のルーツと アイデンティティ	2022年2月2日（水）	午後	2022年2月3日（木）	午前 8:00 ～ 9:30
最終	プロジェクト提出締切	2022年2月21日（月）	午後	2022年2月22日（火）	午前 8:00



4.プログラム内容

燃えろ！日系中学生！ オンライン運動会！

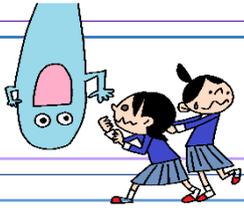


移住した日本人や日系人によって世界に広まりつつある運動会は、参加者が住む日系社会では地域の恒例行事として日系人のみならず、現地の人たちにも親しまれるイベントとなっています。コロナ禍において各地域の運動会は実施が見送られている中、「久々に運動会を楽しみたい」と集まった各国の日系中学生をつないで、オンライン運動会を開催しました！赤組 VS 青組のチーム対抗戦では、得意な分野で力を発揮してチームに貢献した選抜選手たち、チームの応援を盛り上げ選手の士気を高めたチームメイト、赤組・青組ともにチームの力を集結させ、接戦を繰り広げました。

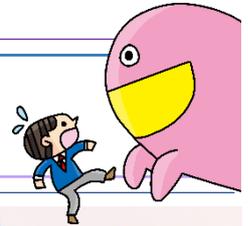


振り返りから

- ◇ 今日のオンライン運動会はとても楽しかったです！人生でほぼ初めて運動会を経験しましたが、オンラインと感じさせないぐらい距離が近くて嬉しかったです。7か国からの色々な違う日系人と喋れてとても新鮮に感じました。一番楽しめた所は最初にやったラジオ体操でした。皆と身体が動かしてより気合が入りました。この機会がもらえて嬉しかったです。本当にありがとうございました！
- ◇ みんなに会えてうれしかったです。お友達にもなれたけどちょっと緊張していました。みんなが笑顔でやっていたので嬉しかったです。またこんな運動会があればいいと思います。すごく楽しかったです。
- ◇ 自分のチームは負けたけど、オンライン運動会はとても楽しかったです。ぜひまた、オンライン運動会やりたいです。
- ◇ 他の国の日系人と共有したり、ハンデミックのためにできなかった活動をしたりすることができ、とても楽しくて仕方ありませんでした。
- ◇ 正直疲れましたけど、いい汗をかいたなって思います！！
- ◇ 久しぶりに運動会をして本当に良かったです。もう日本語学校を出て二年になりましたから同じニッケイ人と会えて嬉しいです。
- ◇ 本当に楽しくて、終わってほしくなかったです。まだほかのプログラムにも参加しているので、楽しんで、友達を作っていきたいと思います。こんな素敵な体験をありがとうございます。
- ◇ オンラインでもこんなことができるんだと思いました。すごくいい経験です。次も楽しみです。



日本人と妖怪



コロナ禍において注目を集めた妖怪「アマビエ」を筆頭に、日本各地には恐ろしい形相のものから、愛らしい姿をした妖怪まで、実に様々な妖怪が今日まで言い伝えられています。日本各地にある妖怪伝承の謎に迫り、妖怪が教えてくれるメッセージについて、参加者みなで考えました。



世界の妖怪



振り返りから

- ◇ ちょっと思ったより怖かったです！でも色々な日本の文化や、妖怪が存在する理由を知ることができて、とても面白かったです。人間の不安、苦しみ、悲しみを和らげるために作られた妖怪たちもいて、いい妖怪もいる事にびっくりしました。
- ◇ 自分の知らない妖怪のことを知ったり、チームで協力して自分たちの妖怪を作ったりすることが、とても面白かったし、暗闇の中での実験も楽しかったです。
- ◇ 妖怪にも子供達に伝えるメッセージがあってすごいなと思いました。
- ◇ とても楽しかったし、たくさんのことを学ぶことができました。日本語をたくさん知っている子がいて、その子たちを見ていると、私も勉強してレベルアップしたいと思うようになりました。アリガトウゴザイマス！
- ◇ それぞれの国の言語を使ったグループの交流はとても楽しかったし、妖怪もとても面白くて楽しかったです！
- ◇ 自分の言語で話せて、ダイナミックなことができるグループもあったので、とても良かった。
- ◇ 新しい妖怪を作ったときや、参加者とのやりとりがとても楽しかったです。
- ◇ とてもいいプログラムでした！なぜなら、私は幽霊とかホラー系が好きだからです。
- ◇ すごく楽しかったです。思っていたより怖くて、それで新しい友達もできて、面白かったです。



オンラインホームステイ!



オンラインだからこそ実現できる新しいホームステイの形を模索して、日系の中学生と日本のホストファミリーをつなぐ相互ホームステイを実施しました。初対面のホストファミリーを前に緊張していた参加者でしたが、趣味や好きなことについて語り合ったり、お互いの家や町について紹介し合ったりするうちに、すっかり打ち解け、笑顔で多文化交流を楽しんでいました。プログラムが終わる頃には「時間が足りなかった」「もっとお話しがかった!」とホストファミリーとの別れを惜んでいました。ホストファミリーのみなさん、ありがとうございました!

ステキな出会いに感謝!



振り返りから

- ◇ もっと日本に行きたいと思えるようなプログラムでした。終わってしまうのがすごく寂しかったです。本当にありがとうございました。
- ◇ グループに入ってすぐは緊張してあまり話せなかったけど、ホストファミリーが優しく話しかけてくれて緊張が和らぎました!そしてゲームを提案してくれたり、質問をしてくれたりして話題にも困ることなく進んで本当に時間が短く感じました!お家を見せてもらって、日本に行きたいという気持ちがより大きくなった気がします。今度日本に行く機会があったらぜひホストファミリーにお会いしたいです。
- ◇ 本当に日本にいた感じで楽しかったです。
- ◇ オンラインホームステイのプログラムはとても楽しかったです!参加できると思っていなかったので、すごく嬉しかったです。色々な国からの方々や、日本のホストファミリーと色々な趣味の話ができて嬉しかったです。いつか日本でホームステイしてみたいという夢がより強くなりました!
- ◇ 今回は楽しい時間をいただきありがとうございます!!アニメや漫画の知識が豊富でほんとに楽しかったです!!連絡先も交換してこれからも話せたらいいと思っています!
- ◇ とても素敵な人たちに会いました。そして今、私は日本語を上達させたいと思っています。というのも、私のグループの人たちはとても上手に日本語を話していたからです。
- ◇ まだまだ話したいことや質問したいことがたくさんあります!これからもぜひ交流していきたいなと思います。そして日本に行く機会ができれば、ホストファミリーにお会いしたいです。

ニッケイの仲間たちと移住学習の旅へ...



むかし にほん くに
昔の日本はどんな国
だったんだろう。
¿Qué tipo de país era
Japón en el pasado?
Que tipo de país era o
Japão no passado?



家族や先祖が歩んできたこれまでの道のり、住んでいる国と日本との関係、そして複数の文化を持つハイブリッドな自分の強みなど、よく知っているようで意外と知らない事柄について、様々な側面から観察し、互いに学び合い、考えていく授業がこの移住学習です。

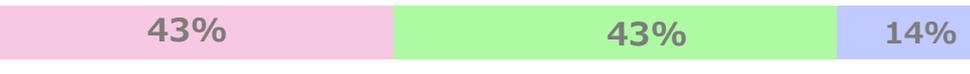
このコースでは、家族の移住の歴史、受け継いできた文化・習慣について知るとともに、自分の個性や強みについてもフォーカスし、自身の将来のビジョンを思い描いていきます。



もし外国で生活するとしたら、

わくわくする気持ちと不安な気持ち、どちらが大きい？

■ わくわくする気持ち大きい ■ どちらも同じぐらい ■ 不安な気持ち大きい



【わくわくすること】

- ◇ 知らない文化に触れ、色々なことを学ぶことを期待します。わくわくと思うのは新しいことを学ぶことです。
- ◇ 新しい生活で一番楽しみなのは、日々の活動や文化の違いでしょう。個人的には新しいことに挑戦することが好きです。
- ◇ 「知らない場所」が少しずつ「大切な場所」にかわっていくこと、新しい人、生活や文化に出会うことが楽しみです。
- ◇ 新しい人生のチャンスを見つけたいと思います。新しい出会いがあることを想像すると楽しくなります。
- ◇ 新しいチャンス、新しい経験、新しい逆境を見つけることで、海外に出る前にはできなかった経験ができるのではないかと考えています。
- ◇ 何かやりたいことが見つかって、いろいろな人と知り合えたらいいと思います。新しい生活は、もう一度、やり直すようなものだと思えば気持ち楽になります。

【心配、不安なこと】

- ◇ 一番心配なのは、言葉の通じない国へ移住した場合、言葉の壁と、これまでのサポートや財産を持たずに0からスタートすることです。
- ◇ 新しい環境に馴染めるのか、そして何が起るのかわからないという不安があります。
- ◇ 未知のものに対する恐怖や心配は誰もが少なくとも何かしら持っているはずで。
- ◇ その場所で生きるための状況に慣れることができるのか、早く友達を作れるのかが不安です。
- ◇ 言葉の壁やお金のこと、家族を置いて知らない国へ行くことは怖いと思います。
- ◇ 最初はあまり馴染めないと思いますが、数ヶ月もすれば、新しい環境に馴染めるようになると思います。
- ◇ 不安はありません。なぜなら、私は自分が平和に暮らしていると思うからです。

160年の時をさかのぼって...



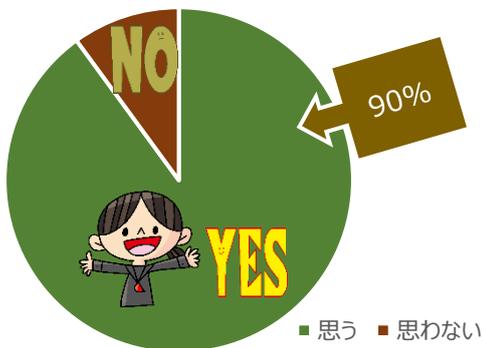
160年前ってことは1860年ごろだね。
ご先祖様はどんな人だったんだろう。

武士、職人、料理人など150人の日本人がハワイへ

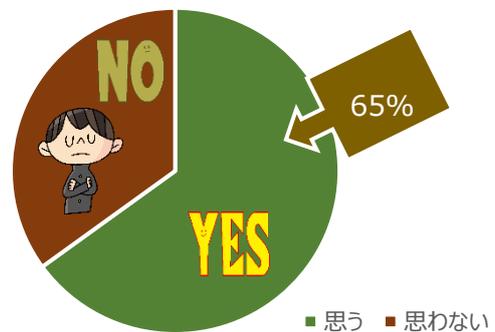
外国の生活についての情報はほとんどなかったなかで、外国へ行くことを決めたんだね

移住が始まったころの日本人の生活をのぞいた参加者たち。現代のデジタル社会とは大きく異なる昔の人々の生活を知り、もし自分たちがこの時代に生きていたら、どのような人生を歩んでいただろうかと考えを巡らせました。長い鎖国が終わり、海外へ出かける選択肢も手にした日本人。彼らが何を求めて、未知の世界での挑戦に踏み出したのか、その動機を探りました。

今の10倍、お金がもらえらしたら、外国で働いてみようと思いますか？



外国ではどのような生活になるかわかりません。それでも外国で生活してみようと思いますか？

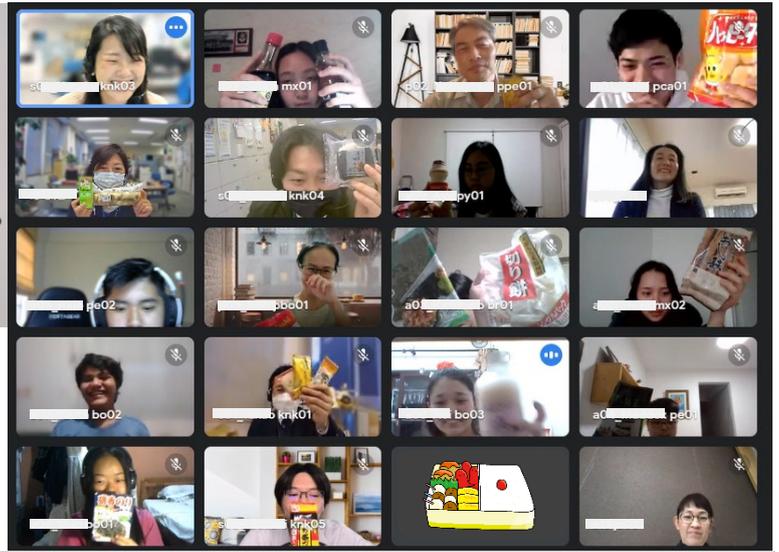


移住した1世に聞いてみたいこと！

- ◇ どうやってスペイン語を習得したのか、何が待っているかわからないまま、どうやって移住する勇気を持てたのか、移住者たちの新しい未来は、新しい国に対して抱いていたイメージや期待どおりだったのか。
- ◇ 到着した国の第一印象、現地の人々とののかわり方、現地の人々の受け入れ方はどうだったのか。
- ◇ なぜ移住を決意したのか。
- ◇ いつ、どのようにこの国に移住してきたのか。着いてからどのようなことをしたのか。
- ◇ どのように移住した国の人と話し合ったのか、新しい国へ移住した時、どのような不安を持っていたか。
- ◇ 旅の途中や入国後に一番困ったことは何だったのか。どんなことが一番大変で、どんなことがそれほど大変ではなかったのか（大変なことばかりではないと思うので）。
- ◇ どのように問題を解決してきたのか、どうすればその問題に立ち向かえるのか。
- ◇ どのように新しい国に適応したのか、日本を離れるときに一番大変だったことは何だったのか。
- ◇ 慣れるまでにどのぐらい時間がかかったのか。
- ◇ 克服しなければならなかったことの中で、最も困難なことは何であったか。
- ◇ ブラジルの食事はどうなのか、どうやって家を手に入れたのか、新しい国で一番苦労したことは何だったのか。
- ◇ 移住してよかったと思うか。



おうちで日本発見!



アメリカ大陸に移住した祖先・家族を持つ参加者にとって、「日本」「日本文化」と聞いてイメージするものには、どのようなものがあるのか、またどのような日本文化が身の回りにあるのかグループで話し合いました。住んでいる国は違っても、共通した価値観や文化を大切にしていることに気づいた参加者たちは、お互いをより身近に感じた様子でした。



日本らしいモノと聞いて思い浮かべること

- ◆ 笑うというよりも微笑む
- ◆ しぶいもの、原色ではない、くすんでいる色や感じ
- ◆ お寺やサムライ、忍者、盆栽、和服、折り紙、太鼓、妖怪など、伝統的なもの
- ◆ 「ありがとう」、「先生」、「さようなら」、「ごはん」、「おねがい」といった言葉
- ◆ アニメ、マンガ、映画、ゲーム、シリーズ、エンターテインメント産業などの現代的な物
- ◆ 落ち着いている、整理整頓、礼儀正しい、尊重、時間を守る、規律、教育、価値観、習慣
- ◆ テクノロジー、技術的に先進国、高品質な製品、見たことのないような斬新なもの、ミニマムな感じのもの
- ◆ もち、ラーメン、からあげ、寿司、エキゾチックな料理

お家や身の回りにある日本のモノや日本文化

- ◆ 日本食レストラン、和風なメキシコ料理、日本の輸入品店、日本食屋台
- ◆ 紅白歌合戦、運動会、成人式、お祭り(夏祭り、秋祭り、盆踊り、アニメ好きな人たちのためのお祭り)
- ◆ こいのぼり、竹とんぼ、おはじき、おもちゃ、のれん、おはし、あかすり、太鼓など
- ◆ 炊飯器、車、電化製品、文房具、スポーツウェア、化粧品
- ◆ カラオケ、空手、柔道、生け花、宗教、仏壇
- ◆ 日本語学校、日本庭園、武道館

振り返りから

- ◇ 私が見たところ、みんなの家には食べ物など、様々な日本のものがあることに気づきました。そして面白いことに、私たちは日本に住んでいないのですが、そういう習慣が家庭に残っているのです。
- ◇ 日本の文化がどのように私たちの国に影響を及ぼしているのかを学びました。私の国には、日本から来たものがたくさんあることに気づかされました。
- ◇ こんなに身近に日本があることがわかりました。
- ◇ アニメの世界中での影響にびっくりしました。

故郷へ想いを馳せて...



うちゅうせん うご
宇宙船が動かなくなりました!
ちきゅう かえ わたし
地球に帰れない私たちは、
ほし い
この星で生きていくしかありません。

**La nave espacial no se mueve.
No podemos volver a la Tierra.
No tenemos otra opción que vivir en
este planeta.**

**A espaçonave não funciona.
Não podemos voltar à Terra.
Não temos escolha a não ser viver
neste planeta.**



ちきゅう こい しかた とま
地球が恋しくて仕方ない時、
どうしたら元気を出せるだろう。

**¿Qué puedo hacer para animarme
cuando echo tanto de menos la tierra?**

**O que posso fazer para me animar quando
sinto tanta falta da terra?**

5年間という約束で宇宙へ行った参加者でしたが、宇宙船の故障により地球へ帰ることができなくなってしまいました。帰郷が叶わない現実にどのような感情を抱くのか、地球が恋しくて仕方ない時、心を奮い立たせるためにはどのような行動を人はとるのだろうかとグループで話し合いました。宇宙に暮らす地球人として、故郷へ想いを馳せた参加者は、ニッケイ・コミュニティに込められた移住者の想いや願いにも、より共感を覚えた様子でした。

地域のニッケイ・コミュニティの特徴について調査!

- ◆ 日本人移住者の子孫や日系人の知人が参加していて、日本の価値観、文化、言葉を学ぶことができます。
- ◆ 運動会、お話大会、お祭り、ひな祭り、盆踊りなど、日本の伝統的なイベントや祝いごとがたくさんあります。
- ◆ ニッケイ・コミュニティは日系人同士の交流の場所です。
- ◆ 卓球、野球、ゲートボール、空手、日本舞踊、琉球舞踊、太鼓や三線などスポーツや文化活動をすることができます。家族も集まって、とても楽しいです。
- ◆ 日本語学校の存在意義は「日系人」という同じアイデンティティを持つ仲間がたくさんできることです。日本語学校は私たちの出会いと分かち合いの場所です。日本語学校にいるととても幸せな気持ちになります。
- ◆ 日本語学校の最大の魅力は日本語を学びながら、他の日系人と共有し、日本文化や祖父母の教えを学べます。学校で学んだことは、日常生活で実践することができるので、日本語学校はドミニカ社会に影響を与えています。
- ◆ 移住者の子どもたちが日本の習慣を失わないようにという目的で作られたのだと思います。
- ◆ 性別や年齢を問わず、さまざまな日系人がいます。日本文化と一定のつながりを維持し続けること、日系人であることが必要なのでしょう。
- ◆ 一般的に良い価値観を持っているコミュニティだと思います。それでも文化によって作られたコミュニティである以上、文化外の人たちからはある程度隔離されているので、もしなくなっても大きな変化はないかもしれません。
- ◆ 自分の性格とニッケイ・コミュニティにいる人たちの性格が似ていることがあるので、居心地がよいです。

振り返りから

- ◇ 日系人である私たちは、それぞれの国で成長すると同時に、日系人として日本文化を共有し学び続けることができます。自分達のルーツを忘れないように30年後も伝統的なことができるコミュニティが欲しいです。
- ◇ 新しい国でどんなに楽しくても、いつかは母国が恋しくなるものだと知りました。
- ◇ 多くの人が自分の文化を懐かしみずにはいられないから、その文化と似たような場所に足を運ぶという結論に達しました。
- ◇ 時間の経過とともに、習慣のようなものは消えていきますが、それを残そうとする人たちがいると思うので、30年後にはもっと熱心なコミュニティができていると思います。
- ◇ 先祖代々の風習や伝統、思い出をこれからも地域の人に覚えていてもらいたい。長年にわたる地域の歴史や生活を3Dで表現できるような技術が欲しいと思います。



自分のルーツを探る旅



日系ブラジル人 3 世の 淵上ラファエル広志さんによる講演ビデオを事前に視聴し、最後の授業に臨んだ参加者たち。尺八との出会いによって自身のルーツ探しが始まった淵上さんのライフストーリーは、淵上さんと同じ日系のルーツを持つ参加者の心を大きく動かししました。淵上さんの奏でる尺八の音色によって呼び覚まされた祖父の幼い頃の母親との記憶、交流が途絶えていた親族を 90 年の時を超え探し出した淵上さんの勇気、曾祖母や祖母に代わり熊本への帰郷を果たしたエピソード等、尺八奏者という夢に向かう過程で淵上さんが自身のアイデンティティと向き合い体験してきた数々の出来事には、参加者を励まし未来に希望を与える力がありました。

にほんご にほんしよく にほんぶんか こ じだい
日本語、日本食、日本文化のあった子ども時代

Quando era niño, el idioma japonés, la comida japonesa y la cultura japonesa seguían estando presentes en su casa.
Quando ele era criança, a língua japonesa, a comida japonesa e a cultura japonesa ainda estavam presentes em sua casa.

おじいちゃんおぢいちゃんの持ち物もつものの中から、古い手紙ふるい てがみを発見はっけん！
ここから、ルーツを探る旅ルーツをさがすたびが始まりました。

Descubriendo una vieja carta entre las pertenencias de su abuelo.
Aquí comenzó un viaje para descubrir sus raíces...
Descobriendo uma carta antiga entre as pertencências de seu avô!
Foi aqui que começou uma viagem para descobrir suas raízes...

かぞく 家族のルーツ

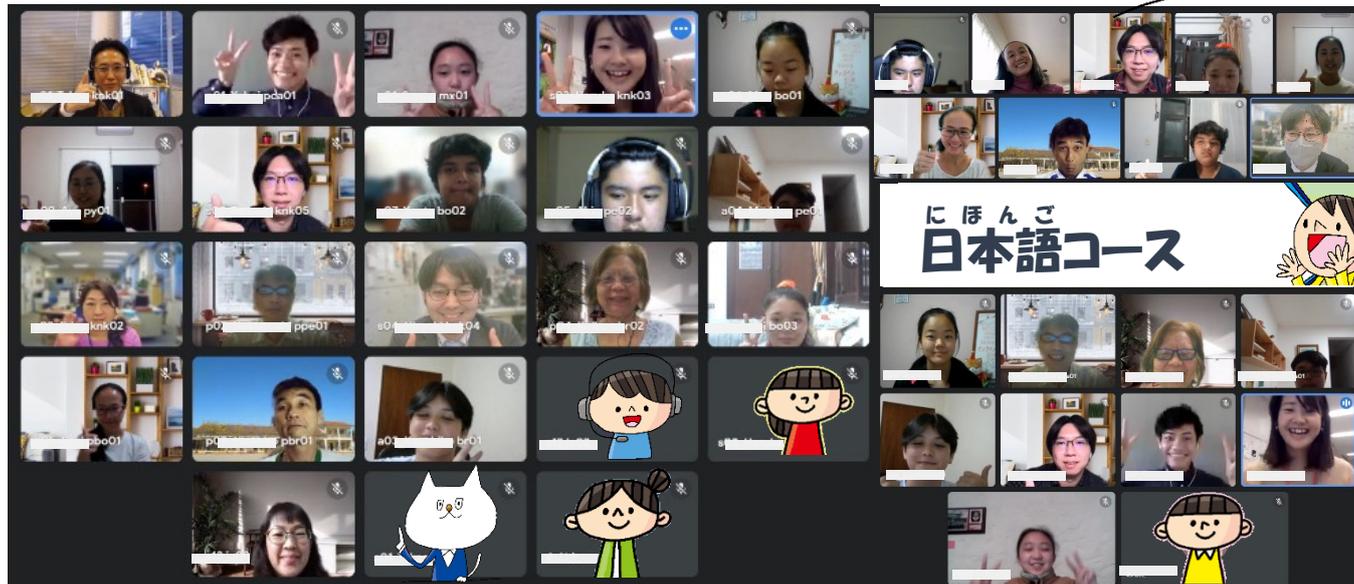
「日系人アイデンティティとの再会
- 尺八を通してかなえた、
熊本におけるルーツ探し -」
淵上 ラファエル 広志 さん

お話を聞いた感想

- ◇ ラファエルさんが日系人としての側面を持ち始めたことで、あらゆる経験をしたことに驚かされました。一番に残ったのは、彼のおじいさんが、子どもの頃、お母さんによく歌ってもらった歌を歌い始めた場面です。
- ◇ ラファエルさんのお話について考えたとき、私には祖父はもういないけれど、それでも幸運なことに、食べ物や伝統、あり方など、日本の文化は私の家族のいろいろなところに常に存在していて、日本にいる家族とも連絡を取り合えていると考えられるようになりました。
- ◇ ラファエルさんは若い頃、日本の文化にはほとんど触れなかったという点が、私と似ているのでとても興味深かったです。彼はとても好奇心旺盛で、自分の原点を探したいと思っていることに気づきました。混血ということで、一番苦労されたことは何だったのか、聞いてみたいと思いました。
- ◇ ラファエルさんのお話はとても興味深く、日本で家族を探すという忍耐と決意に満ちたストーリーに感動しました。
- ◇ 「混血であることが、自分が日系社会の一員ではないことを感じさせた」という言葉が印象的でした。他の日系人といると自分が日本人と特徴が異なり、ちょっとした不安感が生まれることがあるからです。
- ◇ ラファエルさんは小さい頃、日本の文化との関係は薄くなったと言いました。けれど、やることがたくさんあるこの時代に、自分の祖先の文化について調べて、そして日本語も学んだことはすごいと思います。
- ◇ 人生はサプライズがいっぱいなんだ、色々な出来事が繋がって大きなことにたどり着くんだと淵上さんのお話を聞いて思いました。日系人として誇りを持ってたくさんの方に挑戦して淵上さんを尊敬しています。私も自分の家族の歴史などを調べてみて、日本にいる家族やポリビアにいる家族とも、もっと仲良くなりたいと思いました。淵上さんにいつかお会いしたいです。
- ◇ 僕が気に入った場面は、ラファエルさんがおじいさんのために尺八という楽器で何曲か演奏し始めたところでした。彼の演奏により、おじいさんが 80 年以上も前の思い出を思い出すことができたからです。
- ◇ ラファエルさんはすごく明るくて、優しい人だと思いました。印象に残った場面は、親戚の家の前の小学校で尺八のプレゼンテーションをしたところです。
- ◇ ラファエルさんのお父さんの実家は仏教徒、お母さんの実家はキリスト教ということでしたが、仏教徒を受け入れない人が多い中で、よく仲良くなれたと驚きました。
- ◇ ラファエルさんが熊本県で家族と会うところがとても好きでした。ラファエルさんのお話を聞いていると、その声から喜びや嬉しさが伝わってきました。
- ◇ 私はラファエルさんのとても面白くて深い経験が大好きでした。尺八のおかげで彼が家族の歴史についてもっと知り、ニッケイとしてのアイデンティティを見つけることができたことがとても良かったです。
- ◇ おじいさんの清人さんがラファエルさんの尺八の音で、幼少期にお母さんが歌っていた「江戸守唄」を思い出したというエピソードでは、音楽が持っている力に感動しました。そんなラファエルさんの演奏をいつか生で聞きたいと思いました。
- ◇ 日本の小学校で尺八を演奏して、お礼に学校の皆さんが校歌斉唱をしてくれたと聞いた時は、私も泣きそうになりました。



自分探しの一歩先へ




しょうらい
将来、やりたいこと、
ゆめ きぼう
夢や希望はありますか？

¿Qué quiere hacer en el futuro, cuáles son sus sueños y esperanzas?

O que você quer fazer no futuro, quais são seus sonhos e esperanças?



人生の地図 Mapa de la vida

I CAN DO IT

社会 理科 算数 国語 英語

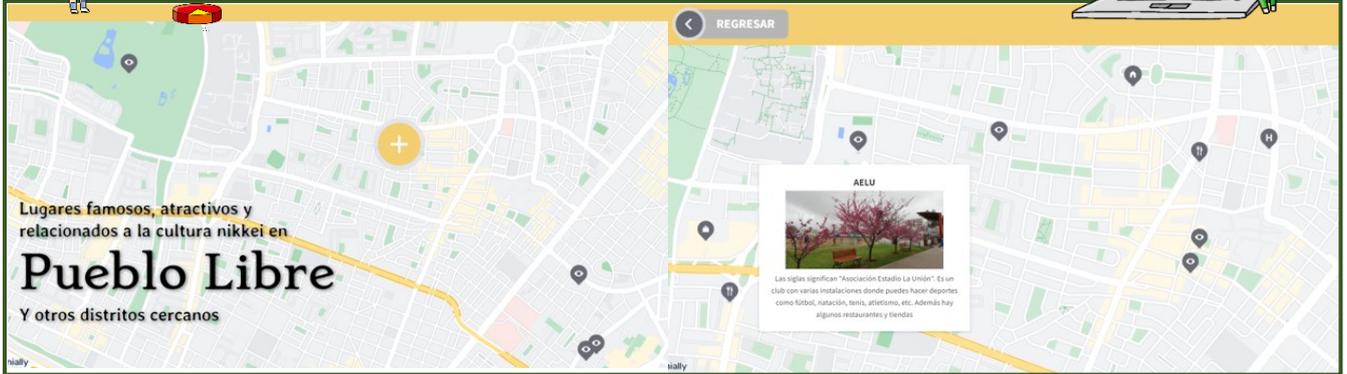
あそび 勉強 がんばる がんばる

居住国と日本の文化を知る自分の強みは？ その強みや興味のあることを使って、将来どんな人になりたい？

- ◇ 生まれた国と日本の両方の良いところを取り入れ、人として豊かになり、将来反映できることが、日系人としての強み、利点だと思います。もう少し大きくなったら、気候変動やその他多くのグローバルな問題について自分の考えを伝えられるようになりたいです。音楽に関する勉強（音楽制作など）もするかもしれませんが、何をやるにしても日本とメキシコのためになり、支援・援助ができるようになりたいです。
- ◇ 私の強みは、日本の文化とともに家庭で教えられてきた「敬意」だと思います。将来は、たくさんの美点や長所を持った人間になりたいです。
- ◇ 私の強みは今回のような研修に参加できたり、日本の文化や風習に触れたりするチャンスがたくさんあることです。将来はそれを活かして、いろいろな国や文化の人々がつながるようにサポートする人になりたいです。
- ◇ 私の強みは、自分のルーツや育ってきた環境をよく理解していること、価値観がはっきりしていて、それを貫ける人であることです。
- ◇ 信頼される存在でありたいし、誰かの心の支えにもなりたいと思っています。また、人から愛され、自分が努力していることを見てもらいたいと思います。
- ◇ 最も重要な強みは、適応するためのオープンマインドだと思います。私は法律を学び、少なくとも3つの言語をマスターしたいと思っています。また、自分の国で改善できることがたくさんあると思うので、政治家になりたいと思っています。
- ◇ 日系人としての強みは、それぞれの文化の良いところを引き出して、それがいつか自分に役立つことだと思います。将来は親切で正直な人になりたいです。
- ◇ 二つの文化を知っていることや二つの言語を話せることが私の強みです。将来は日本の大学へ行き、日本の小学校で英語の先生になりたいと思っています。



自由研究プロジェクト



この5日間の学びをより深めていけるよう、参加者は最終課題として自由研究プロジェクトに取り組みました。それぞれの興味・関心に応じてトピックを選んだ参加者は、自分の得意なことをうまく活用し、日系の価値観や日本文化の魅力を伝える方法を考えました。地域の日系人が築いてきた歴史についてまとめた新聞記事や、日系人と関わりのある場所を調べた地図、移住当時の記憶について家族に話してもらったインタビュー動画など、未来へ残していきたい日系の歴史や文化などについて、工夫を凝らした作品が印象的でした。中には、新しいアプリやツールを使用した作品もあり、若い世代へアプローチした作品も見受けられました。

ACTIVIDADES

En Santo Domingo no hay muchas actividades Japonesas, pero algunas actividades y lugares Japoneses que mucha gente conoce son: el Jardín Japones (que está ubicado en el Jardín Botánico), el barrio chino, samurai (que es un restaurante Japones), y por último el monumento a la migración Japonesa.



El Bon Odori de La Plata es un festival tradicional de danza japonesa que se viene celebrando de forma local desde el año 1999, como una manera de compartir y mostrar a toda la comunidad la cultura, la gastronomía, y las costumbres de ese país.

El festival se lleva a cabo anualmente en el campo de deportes de la Asociación Japonesa de La Plata – Colonia Urquiza, y es organizado por los padres de los alumnos de la Escuela Japonesa de La Plata, en un esfuerzo conjunto con varias colonias japonesas de la zona.



日本から来る新しい生徒のために、ラプラタとブエノスアイレスの日系社会における日系文化の代表的な場所や歴史を紹介する新聞ガイドのようなものを作りました。



自由研究 作品展



年齢は75歳になりました。

Los valores son:

- honestidad
- respeto
- solidaridad
- humildad
- paciencia
- gratitud
- austeridad
- lealtad

Festival おまつり

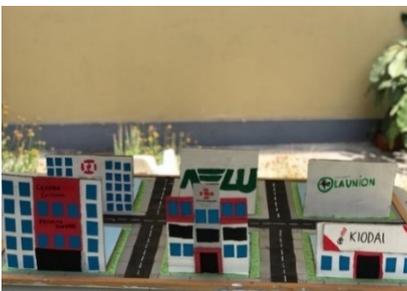
PUEDES ENCONTRAR

- COMIDA JAPONESA
- PRODUCTOS JAPONÉSES
- Y MUCHAS COSAS MÁS

NO TE LO PIERDAS



おじいちゃんとおばあちゃんの「日系人の若者に一言」という質問の答えをいちばん見てもらいたいです。サンファン日本人移住地のいいところを言っているので、機会があれば、いつか遊びに来てください。待っています。



サントドミンゴにつけいコミュニティ

Lugares importantes

#1 Gakko Yasuragi Center Estudiantes

#2 Rest. SAMURAI

#3 Salseo

#4 JICA

#5 Embajada

Cultura japonesa na cidade de São Paulo

Japan House

Bairro da Liberdade

Parque Ecológico Imigrantes

Museu da Migração

一緒に学ぼう、みんなと学ぼう

好きなものを選びましょう!!

コース、必要なもの時間

日本人を代表する価値観

忍耐力

尊敬

感謝

COLONIA JAPONESA SAN JUAN

サンファン日本人移住地

CONVENCION PIKKEI

Desde las 8:45 a.m. hasta las 7:00 p.m.

Todos los viernes y domingos de julio del 2022

Workshops

Exhibición Japonesa

JAPÓN

LOS VALORES

EL TRANSPORTE PÚBLICO

LA AUSENCIA DE DELINCUENCIA

Layer 1: Restaurante La Cocedera de Langosta

Layer 2: Mexpon Ramen & Curry Bar

Layer 3: Breve Café

Layer 4: La Stella Pizza

Layer 5: Tansuachi Restaurant

Layer 6: Mercadería Oscar

手作りで作成した地図に日系人または日本人に関わりのある場所やビジネスを示しました。私の住む町にいる日系人や日本人の存在を確認する方法だと思ったので、このプロジェクトをしたいと思います。ダウンタウン地域を見ると、いかに日系人や日本人のコミュニティが存在するかがよくわかります。

Mi casa

Ensenada, Baja California, México



オンライン授業を終えて



振り返りから

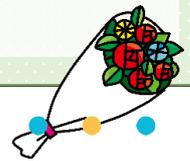
- ◇ 新しい知識のおかげで、日本の文化や日系移民について人々に教えることができます。授業は本当に楽しかったし、クラスメイトや先生方がいなくなるのはとてもさびしいです。またいつかお会いしたいです。
- ◇ クラスメイトのみんなもすごく素敵な夢や、なりたい自分があっていいなと思いました。全部の授業がとても楽しかったです。新しい友達もできて、すごくうれしいです。短い間でしたが、本当にありがとうございました。また参加できる機会があったら、参加したいと思います。
- ◇ 日系人だからこそできることがあるということを誇りに思い、これからも日系アイデンティティを積み上げていくことが大切だと思います。今回が最後でしたが、このような素敵な経験を与えてくださって、本当にありがとうございました。すごく楽しかったです。2年後に日本に行くと思うので、その時に会いに行けたらいいなと思います。直接会って、感謝のお礼をしたいです。本当にありがとうございました。
- ◇ 人は小さなきっかけで変わるので、そのきっかけを見逃さないように日々集中して生きていきたいです。
- ◇ 授業の最後の時、「この5日間の学習では、素晴らしい人々に会った」と思いました。JICAの移住学習に参加できて、すごく感謝しています。
- ◇ 授業で興味深かったのは「大人になったら何になりたいか」という質問です。ドラゴンボールの例では、私たちは二つの文化の組み合わせであるため、より強いという話があり、授業の最後に考えさせられました。
- ◇ 授業ではいろいろなことを学び、大人になったら何になりたいかを考えました。いいアイデアが浮かんだので、もっと世界のことやいろいろなことを調べてみたいと思うようになりました。
- ◇ 授業でまず良かったのは、必ずグループで自分の思ったことや意見を話すことでした。全部の授業でいろいろなことを話して、いろいろなことを知ることができたのでとても楽しかったです。例えば、「他の惑星に何を持っていくのか」という質問は、勉強というよりも、自分自身が考えたことをみんなに伝えられるので、僕はこのような質問が好きです。
- ◇ 祖父母がどんな仕事をしていたか、どこに住んでいたかという話をしましたが、ほとんどの人は家族が農家だったと言っていました。そんなことは知らなかったし、実際に、自分の祖父が農家であったことも知りませんでした。
- ◇ クラスメイトはとても良い人たちでした。このオンライン移住学習に参加することを決めてよかったと思っています。最初は恥ずかしいかもしれませんが、お互いを知り友達を増やすことは大切なことなので、ここに参加すれば幸せになれると思います。
- ◇ みんな同じような考えを持っていることを知りました。こんな授業は初めて体験しました。すごくドキドキしました。
- ◇ 授業では日本人が外国で行っていた仕事も知ることができました。この講座を実際に受講したら、どんなに面白かっただろうと思いました。
- ◇ 宇宙での生活を想像しながら、色々な発想や意見を話し合っってすごくおもしろかったです。この移住のことについても、もっと深く学べたと思います。
- ◇ グループではすごく緊張しましたが、先生たちのおかげで自分の意見や思いを伝えられたと思います。



現地日本語学校の先生たちに感謝！

オンライン移住学習では、グループディスカッションのファシリテーターとして、このオンライン授業を強かにサポートしてくれていた先生たちがいます。普段は参加者たちが住む日系社会の日本語学校で日本語を指導している現地の先生たちです。現地日本語学校での担当授業もありお忙しい中、6名の先生がスケジュールを調整し、このオンライン授業に参加してくださいました。

緊張していた参加者がグループの仲間たちに自分の意見や考えを伝えられるようになったのは、グループ内で毎回、参加者が発言しやすい雰囲気を作り出してくれていた先生たちの温かい人柄があってこそです。安心できる環境でグループの一員として意見やアイデアを出すことができた体験は、参加者の自信や授業の満足感にもつながっていた様子でした。オンライン移住学習を支えてくださった先生方、本当にありがとうございました。



5日間お世話になりました。楽しませていただきました。こうして少しでも仲間と繋がる事が出来たことは、子ども達にとっても貴重な経験になったことと思います。いつもありがとうございます。

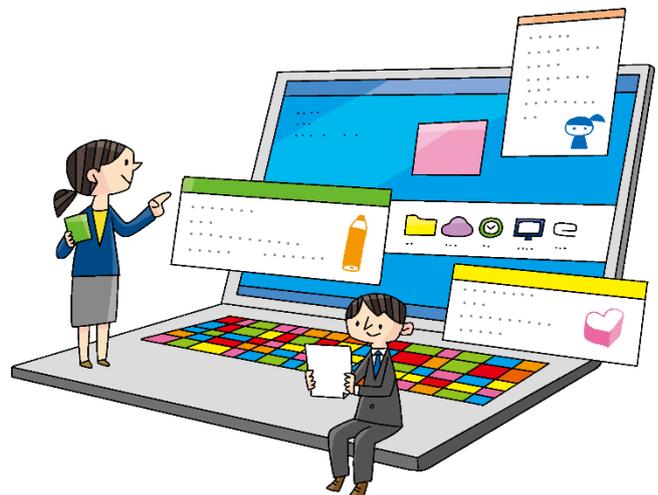
この度は、大変貴重な経験をさせていただきました。子供達の前向きにプロジェクトに向き合う姿勢にも心を打たれました。

また、ベテランの講師の皆様から様々なことを吸収させていただくことができました。私自身、まだまだ駆け出しではありますが、皆様の支えを受けながら日々「集中！」してまいりたいと思います。

今回初めて参加させていただき、とても有意義でした。生徒達同様、私も緊張しましたが、最後は同じ時間を一緒に楽しみました。

Google Classroom もとてもよく活用されました。課題や資料も日系人とは何か、研修生がこれからどのように社会とのつながりを持てばいいか、将来を考える場にもなっていました。

研修日最後にはラファエルさんに共感を持つ子供達も多く、自分を見つめなおせているなど感じました。現実のリアルな体験談や現状を知るいい機会になったのではないのでしょうか。年齢的にも日系の歴史や現状に触れ合うことはなかなかないので、とてもいい活動になったと思います。



5.総評

明治元年（1868年）、サトウキビプランテーションの労働者としてハワイへ渡ったことから始まる日本人のアメリカ大陸への移住の歴史は150年以上の歴史を有しています。その間、各国、各地域の日系社会では日本語学校を中心にコミュニティを形成し、今日まで継続してきています。しかしながら、世代が進むにつれ、日本語学校に通う日系子弟の減少、日系コミュニティへの帰属意識の低下や日系アイデンティティの希薄化といった問題が顕在化し、日本との繋がりもだんだんと弱くなってきているのが現状です。

そのような現状に鑑み、本研修では、次世代の日系社会を担う人材育成の一環として、「日本人の海外移住の歴史に関する学習、ホームステイや体験入学といった日本で生活する人々との交流、その他各種研修を通じて自分たちのルーツ、日本文化、習慣等を学んでもらい、日本に対する理解を深めることで、自らの日系人としてのアイデンティティを強化すること」を目的としています。

2020年度より新型コロナウイルスの感染拡大により従来への訪日での研修は中止が続いています。世界中が様々な活動を制限され我慢を強いられている中、訪日研修を目標に日本語学習に励んできた各国日系社会の12～15歳の学習者もまた、先輩たちや教師等から話を聞き思い描いてきた訪日研修への挑戦をあきらめざるを得ませんでした。訪日研修がいつ再開されるのか不透明な現在の状況下では、各国日系社会の日本語学校が生徒たちの日本語学習へのモチベーション維持に取り組み、また、日本文化との結びつきを見失わぬよう生徒を励まし指導を続けています。このような教師や家族に支えられ日々努力を積み重ねる学習者に、日本や日本文化に対する興味・関心をさらに広げる機会を作り、今後の日本語学習へのモチベーションにつなげていけるよう、2021年度は訪日研修で実施しているプログラムを一部、オンライン上で疑似体験する日本体験プログラムと移住学習を実施しました。

今年度初めて開催したオンライン日本体験プログラムでは、「アイスブレイク」「日本文化」「ホームステイ」といった3つのプログラムを一回完結型のオンラインイベントとして実施しました。「アイスブレイク」では、日系社会でも親しまれている運動会をオンライン上で開催し、離れた場所で生活する同年代の日系人とチーム対抗戦の競技を楽しみながら、新しい形の運動会を共に体験しました。中学生という年代の参加者にも人気がある「妖怪」を題材にした「日本文化」に関する講座では、日本古来の伝承や古来日本人が大切にしてきた生きる知恵を紹介し、日本文化の考察につなげていきました。最終日に実施した「ホームステイ」では、日本のホストファミリーの協力を得て、日常生活の紹介や休日の過ごし方など、身近な話題について相互に紹介し合うオンラインならではの相互ホームステイを実施しました。参加者は各々が自身の興味・関心に応じてプログラムを選択したことにより、希望した体験をオンラインであっても実現することが可能となり、新しい学びや体験から感動を得ることができたようでした。

昨年に引き続き実施したオンライン移住学習では、異なるバックグラウンドを有する参加者が基盤となる知識をインプットし、トピックについての意見やアイデアを構築できるよう、ライブ授業の前に事前学習を設け、続くライブ授業では他者との学び合いができるグループディスカッションを取り入れました。同年代の参加者との意見交換では、様々な意見を聞くことにより思考の幅を広げ、より多角的に考察する機会にもなりました。移住学習では家族のルーツや身の回りの日本文化、コミュニティ形成の過程について理解が深まっただけでなく、最終課題の自由研究プロジェクト

トを通して、自身の強みを生かした表現方法を各々が模索し、日系人の歴史や文化、日系社会が持つ魅力等について伝えようとする努力が見受けられました。今回は、インフォグラフィックツール等、新しいアプリやツールを積極的に使用した若い世代にも訴求力のある作品が多くあり、各自が得意な分野で趣向を凝らしていました。

また、オンライン移住学習の実施にあたり、日系社会の日本語学校等で日本語教育に携わっている日本語教師 6 名にご協力いただきました。グループディスカッションではファシリテーターとしてグループの話し合いをまとめるだけでなく、参加者が安心して意見を共有できる環境も整えていただきました。参加された教師からは「オンラインを活かしてどのように移住学習を行えばよいのか、今後、移住学習を計画する上で参考にしたい」といった声もあり、本プログラムの移住学習は学習の手法や参加者の反応及び学習効果について、実践を通して実際に日本語教師の皆さんに知ってもらう機会となったのではないかと考えます。各国日系社会の日本語学校で生徒たちと日々接する教師の皆さんにオンライン移住学習を実際に体験してもらえたことは、本研修の上位目標とされている「現地日系社会での継承語教育の振興を促し、日系社会の次代を担う人材の育成に寄与すること」に現地日本語学校の教師側からもつなげ、より多くの日系子弟に移住学習の機会を普及することができるのではないのでしょうか。

今回の日本体験プログラム及び移住学習を通じ、実際に同世代の日系人や日本のホストファミリーと交流した体験は日本語を学習する参加者にとって日本語学習のモチベーションにもつながる良い刺激となったようでした。「日本語をたくさん知っている子がいて、私も勉強してレベルアップしたいと思うようになりました」「素敵な人たちと出会いました。そして今、日本語を上達させたいと思っています」等、日本語学習への意欲を新たにした参加者が多く見受けられました。

さらに、他の参加者と交流する中で、「みんなの家には食べ物など、様々な日本のものがあることに気づきました。そして面白いことは、私たちは日本に住んでいないのに、そういう習慣が家庭に残っているのです」とお互いの共通点を見つけ、自分のルーツが他の参加者ともつながっていることを感じ取る等、日本にルーツを持つ日系人としての認識も少しずつ芽生え始めた様子でした。日本と居住国の文化に触れながら生きる日系人の強みについても学習した参加者は、「生まれた国と日本の両方の良いところを取り入れ、人として豊かになり、将来繁栄できることが日系人の強みだと思います。大人になって何をするにしても、日本とメキシコのためになる支援・援助ができるようになりたいです」と将来の理想の姿を思い描き、各々が新たな気づきを得て自身の強みを分析していました。

現在、中学生という年代の参加者が、日系アイデンティティについて考えを深め、日系社会の一員として社会に貢献していけるようになるには、日本を訪れ体験する学びや人との出会い等、参加者自身が五感を用いて体験する成長の機会が肝要であることは言うまでもありません。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により訪日研修が中止となった状況下においても、オンライン学習を通じて、自身のルーツや日本文化について知り、同世代の日系人とのつながりを意識できたことは、参加者の今後の日本語学習や日系社会との関わりにおいて新たな原動力となっていくのではないのでしょうか。このプログラムでの体験を今後の各々の自己実現に向けた学習に活かし、参加者が各国日系社会と日本との架け橋となっていけるよう、今後のさらなる成長と活躍に期待しています。

2021 年度

「日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）

オンライン移住学習」募集要項

2021 年 8 月



独立行政法人国際協力機構（JICA）

2021 年度「日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）
オンライン移住学習」募集要項

1. 目的

日本人が「なぜ」「いつ」「どのように」中南米に移住し、「どのように」ニッケイ・コミュニティを形成し、「なにを」創出したかについての学びを通して、課題解決能力やコミュニケーション能力を高め、コミュニティへの貢献意識の高い人材を育成します。また、本学習活動を中南米の日系日本語学校と協働して実施することにより、中南米継承教育の推進に寄与することを本研修で目指します。

例年、研修員を本邦へ招へいし研修を実施していますが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、中学生及び日系日本語学校の教師の方を対象にオンライン移住学習を3言語のコース（日本語、スペイン語、ポルトガル語）で実施します。

2. 対象国および各国人数枠

10 カ国 計 55 名(日本語 30 名、スペイン語 15 名、ポルトガル語 10 名)

対象国	日本語コース	スペイン語コース	ポルトガル語コース	計
	人数枠	人数枠	人数枠	
カナダ	4			4
ドミニカ共和国	1	4		5
メキシコ	2	2		4
コロンビア	1	1		2
ベネズエラ	1	1		2
ブラジル	12		10	22
ペルー	2	2		4
ボリビア	2	1		3
パラグアイ	2	1		3
アルゼンチン	3	3		6
合計	計 30 名	計 15 名	計 10 名	計 55 名

※日本語のレベルによらず、本人の積極的な参加意思を有していれば他国からの参加者との日本語による活発な意見交換や日本語コースへの参加を推奨します。

※ポルトガル語コースの最小開講人数は 4 名以上とし、応募者が 4 名に満たなかった場合は日本語コースへ振り替えを行います。

※在外事務所が横浜センターに応募書類を提出した時点で人数枠を下回る国については、他の対象国に人数枠を割り充てる調整を行います。

※上記人数枠は中学生を対象とし、参加が決定した日本語学校に対しては別途協力可否を相談、調整する予定です。

3. 実施期間（予定）：2021年12月中旬～2022年2月上旬

（各コースの実施日は以下の通り）

- ① 日本語コース：2021年12月21日（火）（ブリーフィング）、2022年1月10日（月）、12日（水）、14日（金）、24日（月）、26日（水）
（日本時間；2021年12月22日（水）（ブリーフィング）、2022年1月11日（火）、13日（木）、15日（土）、25日（火）、27日（木））
 - ② スペイン語・ポルトガル語コース：2021年12月22日（ブリーフィング）、2022年1月17日（月）、19日（水）、21日（金）、1月31日（月）、2月2日（水）
（日本時間；2021年12月23日（木）（ブリーフィング）、2022年1月18日（火）、20日（木）、22日（土）、2月1日（火）、2月3日（木））
- *いずれのコースも日本時間午前8時開始

4. 実施概要

別紙1を参照してください。

5. 応募資格要件

・中学生

(1)に該当し、(2)以下すべての要件を満たすことが必要です。

(1)海外移住者及び概ね日系3世までの海外移住者の子孫（※）であること。

※日本人移住者の血統を引く者を指します。

※事業対象国に定住しており（主たる生活基盤があること）、

日系日本語学校に通学している者、または通学希望の者。プログラム参加時点で、原則、日本の中学生相当（12歳以上、15歳以下）であること。

2020年度の仮合格者のうち、2020年度オンライン移住学習に参加していない者は15歳以上であっても希望により参加可。

(2)親権者または保証人の同意が得られること。

※共同親権が法制化されている国においては、全親権者の同意が得られること。

(3)移住学習についての理解を深める強い意欲があること。

(4)原則、JICA指定の全プログラムに参加できること。

参加に必要な機器(PCやスマートフォン)、インターネット環境は各自で準備いただきます。受講の際はPCまたはスマートフォンのカメラを使用します。

(5)オンライン移住学習に参加するに当たり、各参加者は自宅で受講することを想定しています。参加に必要な機器(PCやスマートフォン)、インターネット環境は各自で準備いただきます。また、受講の際はPCまたはスマートフォンのカメラを使用しま

す。

なお、グループディスカッション等お互いの画面共有の関係から、PCからの参加を推奨しますが、難しい場合はスマートフォンからの参加も可とします。(グループディスカッションは講師や他の参加者とのコミュニケーションのため、カメラオンでの参加を基本とします。)

(6)教材の著作権や講師・他の参加者の肖像権について参加前の注意事項を順守すること。

6. 応募書類

(1) JICA が指定する以下の様式を使用して応募してください。

応募用紙(身上書) …1通(別紙2、別紙3)

氏名:この書類に書かれた氏名の表記(漢字・ひらがな・カタカナの区別も含みます)にしたがって、修了証書を作成します。読みやすい字で記入してください。

必ず保護者と本人両方の連絡先メールアドレスを記載してください。(欠席の確認等を行います。)

(2) 所有していれば、以下の書類も応募と同時に提出してください。

※PDF または写真添付も可能

日本語能力試験認定書等日本語能力に関する証明書類…写し1通

※公的試験等を受けたことがない場合は提出不要。

(注1) 上記(1)の書類は必ず本人が作成してください。

(注2) 上記(1)、(2)の書類に記入漏れや正確に記載されていない点がある場合、またすべての書類がJICA 在外事務所の募集締切日(各国によって異なる)までに完全に揃っていない場合は受理されません。

(注3) 提供された個人情報は、①合否の判定、②プログラム実施の準備、③事業実績の取りまとめ等の統計資料の作成のみに利用します。なお、学校名や氏名等、一部個人情報をJICAの広報に使用する場合があります。

7. 募集期間

JICA 在外事務所への応募書類提出締切日は各在外事務所により決定されるため、各在外事務所の指示に従ってください。メールでの応募も可能とします。

8. 参加の資格取消

参加者が次の事項に該当する場合、JICAはその資格を取り消すことがあります。

(1) JICAの指示および決定に従わなかったとき

(2) 本人の故意、重大な過失または怠慢等により、プログラムの参加を継続することが困難と認められるとき

(3) 本人の都合により参加を中断したとき

- (4) 応募書類の記載事項に虚偽が発見されたとき
- (5) その他 JICA がやむを得ないと認める事由があるとき

9. その他の留意事項

- (1) 応募者は、事業対象国の国籍を有すること（あるいは日本の国籍を有すること）が望ましいです。
- (2) 合格者は肖像権の承諾書を提出してください。
- (3) 本オンライン移住学習と通常実施している来日研修では、参加・資格要件が異なることから、本オンライン移住学習への参加が来年度の来日研修への参加を保証するものではなく、来日研修の参加希望者は改めて来年度にご応募いただき、通常通り選考を行います。
- (4) 参加者が8.の参加の資格取り消しの事項に該当する場合、JICA はその資格を取り消すことがありますので、事前に十分理解して、参加申し込みを行ってください。
- (5) 本プログラムは2020年度に実施したオンライン移住学習と同じ内容になります。

10 研修修了証書授与の基準

- (1) 全5回の研修プログラムに出席する。
ただし、やむを得ない事情（体調不良やインターネット接続環境）により欠席した場合は欠席回の事前課題と代替課題を提出することで出席と見なします。
- (2) 指定された提出物を全て期日までに提出すること。
- (3) 最終課題(プロジェクト)を期日までに提出すること。

以上

別紙1：「日系社会次世代育成研修（中学生）オンライン移住学習」実施概要

別紙2：「日系社会次世代育成研修（中学生）オンライン移住学習」中学生用応募書類様式